

基本理念

豊中市の中核病院として
「心温かな信頼される医療」
を提供します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
2. 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
3. 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
4. 高齢化社会に対応する医療を推進します。
5. 医療従事者の教育・研修の充実を図ります。

病院だより

TOYONAKA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

とよなか No. 15

脳卒中センターの開設

日本で死亡原因第3位、寝たきりとなる原因の第1位をしめる脳卒中。

近年、脳卒中の過半数を占める脳梗塞に対する超急性期※治療の進歩により、早期の対応での有効性が判ってきました。市立豊中病院では、脳卒中センターを開設し、脳卒中を疑う患者さんの緊急受け入れに対応しています。

※超急性期：発症後3時間以内



●● 脳卒中とは？ - 日本人成人の死亡原因第3位

脳卒中とは、脳梗塞・脳内出血・くも膜下出血などの、脳の血管障害が元となる疾患（病気）のことです。

- 現在の日本人成人の死亡原因第3位、死亡総数の1割強を占める。
- 運動障害・知覚障害・言語障害などの後遺症が残ることがある。
- 要介護となる原因の3割を占める。

さらに高齢化社会の進む現在、脳卒中の診療体制を構築する必要性が急務

脳卒中の警告症状

(米国心臓協会)

- 突然 顔・上肢・下肢など身体半身の運動症状、感覚障害が起こる。
- 突然 片目の視力障害、視野障害が起こる。
- 突然 言葉がもつれる、話せなくなる、理解できなくなる。
- 突然 原因不明の頭痛が起こる。
- めまい感、体の不安定などの症状。
- 突然 倒れる。

これらの症状が出たとき
救急車をよび、できるだけ早く病院へ!

くも膜下出血

脳動脈瘤（脳動脈にできたコブ）が破れて、脳の表面を覆うくも膜と脳との間出血が広がる。

脳梗塞

脳へ血液を送る血管が詰まり脳細胞が壊死状態となる。

脳卒中

脳内出血

血圧の上昇などにより脳の中で血管が破れて出血する。

●● 脳卒中センター

市立豊中病院の脳卒中センターは、24時間対応で脳卒中急性期※の患者さんを対象として、内科的治療（血栓溶解療法・合併症の予防など）、脳外科的治療（緊急手術など）のいずれにも対応できるチーム医療を行っています。

※急性期：発症から初期の治療を要する期間

脳卒中センター

神経内科

脳神経外科

救急科

脳卒中患者

リハビリテーション科

診断

(CT・MR・超音波検査など)

治療

急性期リハビリテーション